



## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	医療法人 おもと会	代表者	理事長 石井 和博	法人・事業所の 特徴	1. 職員は笑顔と元気を一番にご利用者様を支援します。 2. ご利用者様の残存能力を維持できるよう支援します。 3. ご家族の支援も大事に考え、実践しています。 4. 看護師配置で健康管理にも努めています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 すずらん	管理者	宮里 洋子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	1 人	0 人	1 人	0 人	0 人	12 人	人	16 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見(2022年度)	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ対策に追われてアンケートは未実施。</li> <li>2022年度には確実にを行い、自己評価に繋げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍、外部者立ち入り禁止等で外部との交流がなくアンケートボックスの活用はなかった。</li> <li>コロナ禍、中止となった研修会以外は研修会へ派遣(リモート)できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの改善計画についてももう少し具体的にして欲しい。</li> <li>地域資源についてどう集めるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定例会において常に職員の意見を拾い事業所自己評価の参考にする。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節ごとの掲示物は実施できたので利用者のできる工作や塗り絵を行いホーム内に飾る。(職員と利用者で)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が作成した塗り絵をホールや廊下へ掲示している。</li> <li>利用者の手づくりアプローチを衣服や靴へ飾り喜びを共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ対策のためか自動ドアの出入り口が自由ではなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1階玄関のドア規制は法人と調整しながら早急な開放に向ける。</li> <li>地域に開かれた事業所づくりに努める。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も地域からの行事の依頼があれば参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍、かみはらはは入場制限をしている。</li> <li>活動制限もあり交流はありませんでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1階の開放広場での利用者の散歩等を見かける。</li> <li>自治会賛助会員への参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ規制の緩和に合わせて外部との交流を拡げていく。</li> <li>行動制限の中、地域清掃、各主行事等へのボランティア参加、地域の方と情報交換する。</li> </ul>
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護支援専門員にも協力してもらいながら地域との関わりを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍、令和4年度も地域との関わりがなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者以外の方の報告記録も記入するとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>那覇市ちゃーがんじゅう課、地域包括支援センターと連携を取りながら、利用者や地域の心配な人の見守りを行う。</li> <li>買い物、カフェへの参加ができるよう取り組む。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所だけの運営推進会議には無理がある。次年度はリモート報告の方法を修得し実行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン開催は技術的にできなかった。</li> <li>外部者立ち入り禁止等で職員参加で運営推進会議を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン開催を計画してみてもどうか。</li> <li>他のメンバーの意見の回収に努めて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部者参加の運営推進会議の開催実施、外部の意見を取り入れ課題に取り組む。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的に防災・災害対策について事業所内の勉強会を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍、近隣住民への案内、参加なし。法人職員のみで実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議後等に実施すると外部メンバーの参加は可能。</li> <li>BCP策定状況を報告して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議委員と当法人の合同防災・災害訓練が実施できるよう調整する。</li> <li>BCP計画進捗状況の報告をする。</li> </ul>